

⑮ 公開実用新案公報(U)

昭60-96692

① Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 昭和60年(1985)7月1日

G 09 F 9/00  
G 02 F 1/133

117

K-6731-5C  
7348-2H

審査請求 未請求 (全4頁)

④ 考案の名称 表示セルの固定装置

⑥ 実 願 昭58-190150

⑦ 出 願 昭58(1983)12月9日

⑧ 考 案 者 青 木 亨 大宮市日進町2丁目1910番地 関東精器株式会社内  
⑨ 考 案 者 阿 久 津 義 孝 大宮市日進町2丁目1910番地 関東精器株式会社内  
⑩ 出 願 人 関 東 精 器 株 式 会 社 大宮市日進町2丁目1910番地  
⑪ 代 理 人 弁 理 士 谷 山 輝 雄 外3名

⑫ 実用新案登録請求の範囲

- 1 透視窓11が形成された表示パネル1の裏面に、板状の表示セル2を前記透視窓11から透視可能に固定してなる表示セルの固定装置において、前記表示パネル1の裏面の前記透視窓11の周りに、前記表示セル2の外周に若干の隙間を残して該表示セル2を包囲する支持枠12を立設し、かつ前記表示セル2と前記支持枠12との隙間に該表示セル2を該支持枠12の一方の壁面側に偏位するように付勢するゴム製固定片9、821を介挿してなることを特徴とする表示セルの固定装置。
- 2 前記固定片821は前記表示パネル1に設けられた表示制御用スイッチ8を構成する接点用ゴム82の一部を延長成形してなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の表示セルの固定装置。

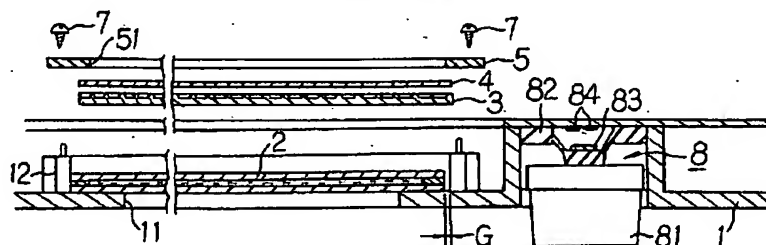
図面の簡単な説明

第1図は従来の表示セル固定装置を示した分解

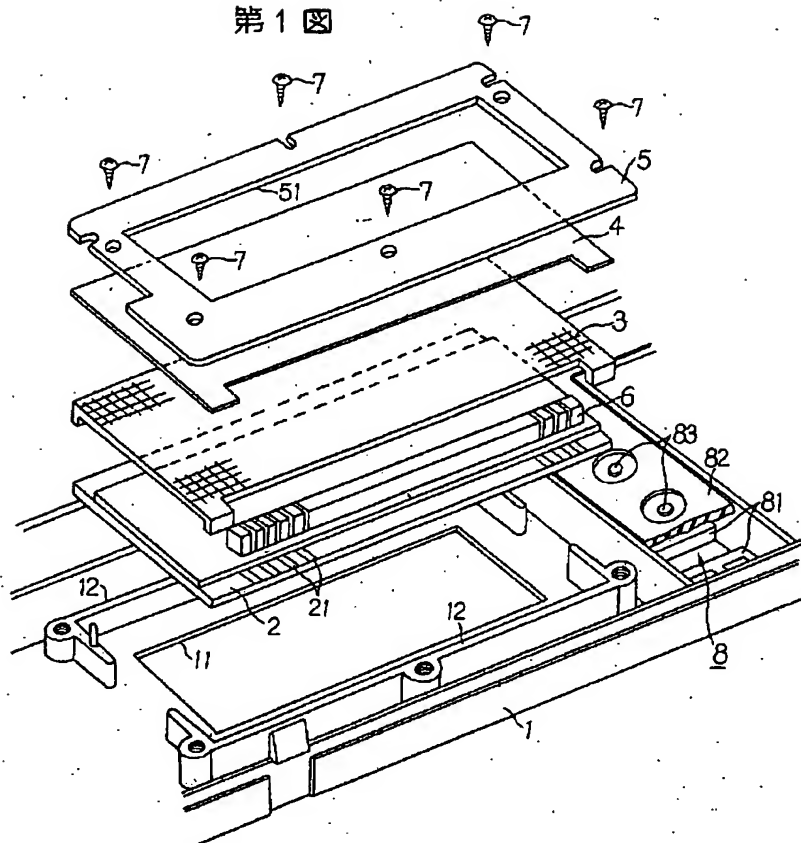
斜視図、第2図はその組立手順を示した断面説明図、第3図は本考案よりなる表示セル固定装置の第1実施例を示した分解斜視図、第4図は同上の組立動作説明図、第5図は同上の組立手順を示した断面説明図、第6図は本考案の第2実施例を示した分解斜視図、第7図は同上の組立動作説明図、第8図は同上の組立手順を示した断面説明図である。

1…ケース、11…透視窓、12…支持枠、121…内側辺縁、3…プリズム、4…半透光性反射板、5…プリント基板、51…照明ランプ光通過用開口、6…ゴムコネクタ、7…固定用ねじ、8…スイッチ、81…押釦、82…接点用ゴム、83…可動接点、84…固定接点、821、9…ゴム製固定片、91…基部、822、92…突部、14…切欠き部。

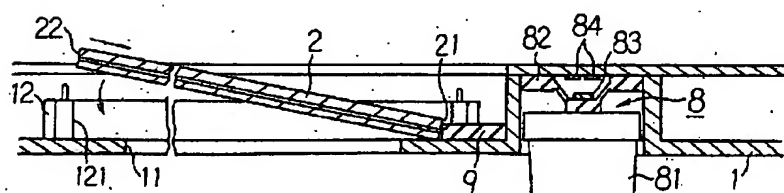
第2図



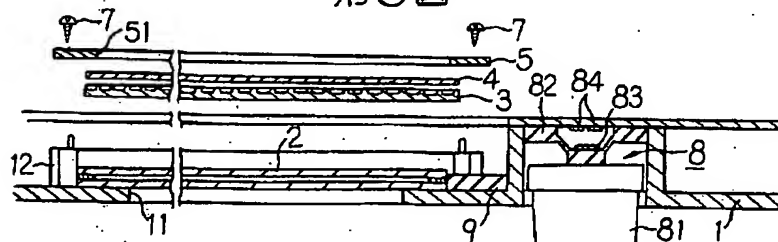
第 1 図



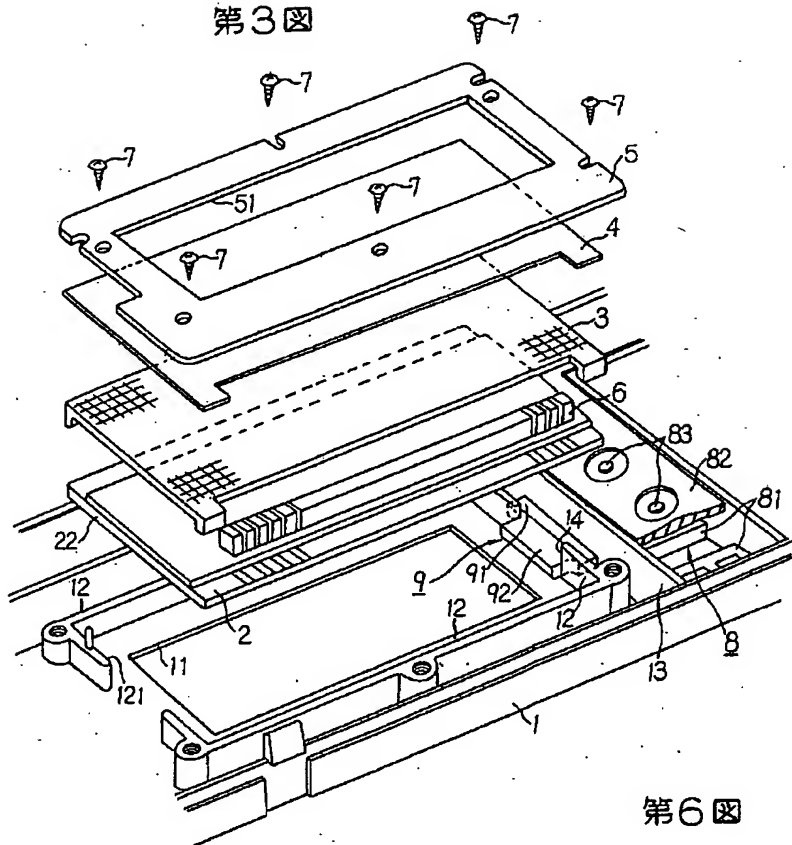
第4図



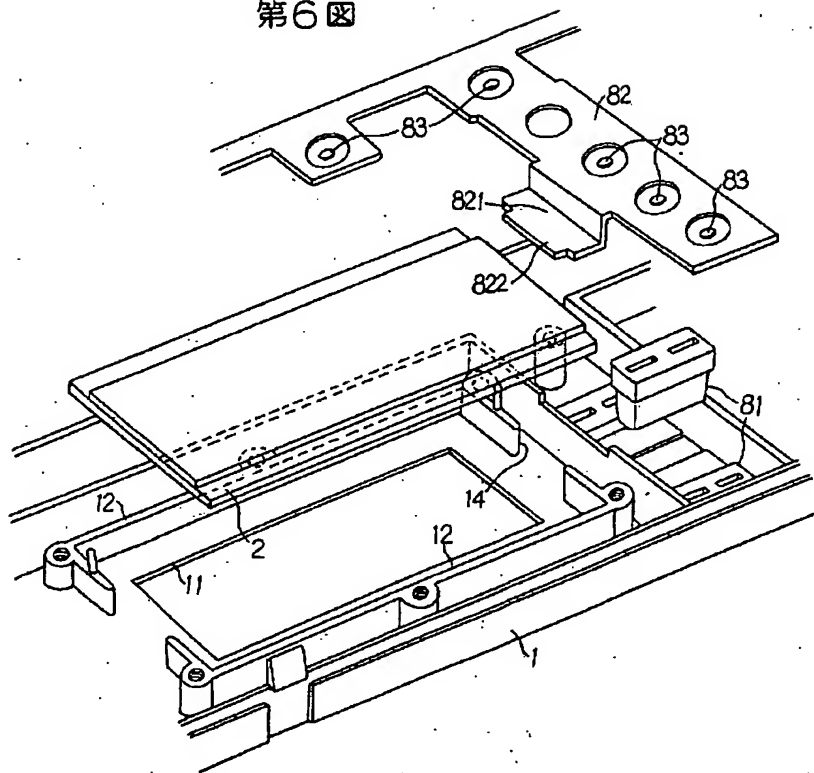
第5図



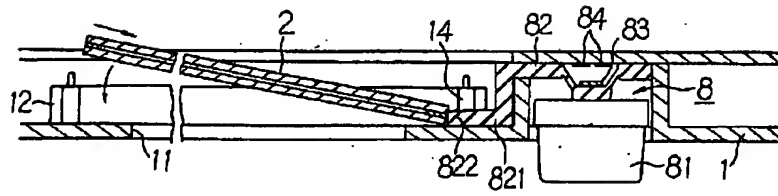
第3図



第6図



第7図



第8図

